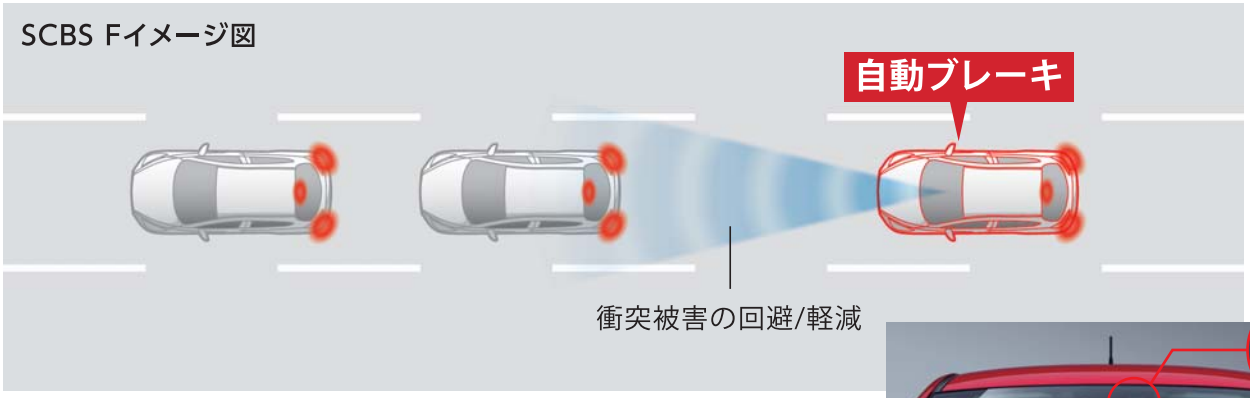
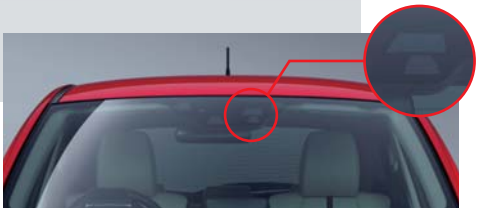
スマート・シティ・ブレーキ・サポート〈SCBS〉(衝突被害軽減ブレーキ)について

約4～30km/hでの低速走行中、近赤外線レーザーレーダーで先行車を捉え、衝突の危険性を判断します。
衝突の危険性が高い状況下でドライバーがブレーキペダルを踏むと、ブレーキは即座に強い制動力を発揮。
ブレーキ操作等がない場合は、自動的にブレーキをかけて衝突回避をサポート、もしくは衝突による被害の低減を図ります。



■先行車との相対速度が約20km/hより低いときは、
衝突を回避できる場合があります。



SCBS F/AT誤発進抑制制御
センサー部

【ご注意!】

- □ フロントガラスが汚れている場合や悪天候時は、作動しない場合があります。
- □ 作動時は強いブレーキがかかります。全ての乗員が適切にシートベルトを着用していることを確認してください。
- □ 作動後、ブレーキペダルを踏まないと約2秒後にチャイムが鳴り、SCBSブレーキが自動的に解除されます。

誤発進抑制機能について

約10km/h以下の徐行時や停車時、前方に障害物があるにも関わらず、アクセルが一定以上に踏み込まれた場合には、
警報と同時にエンジン出力を抑えて急発進を抑制します。

AT誤発進抑制制御イメージ図

※ブレーキをかけて車両を停止させる機能はありません。

【ご注意!】

スマート・シティ・ブレーキ・サポートに関して

- □ 対象物、天候状況、道路状況等によっては衝突回避または、被害を軽減できない場合があります。
- □ ハンドル操作やアクセル操作による回避行動を行っているときは、作動しない場合があります。

スマート・シティ・ブレーキ・サポート/誤発進抑制に関して

- □ ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、事故被害や運転負荷の軽減を目的としています。
  したがって、各機能には限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。
- □ 状況によっては正常に作動しない場合があります。

誤発進抑制に関して

- □ ガラス面(ショーウインドー等)や網目状のフェンスなどレーザーが反射しない場合は作動しません。

詳しくは、取扱説明書をご覧ください。